

条幅部自由参考

10月25日正午必着

明石春浦先生書



眠<sub>くも</sub>に<sub>ね</sub>じり<sub>い</sub>ずみ<sub>を</sub>き<sub>く</sub>  
眠<sub>レ</sub>雲<sub>レ</sub>聽<sub>レ</sub>泉 (張愈) 山中の幽棲。

明石幸子書



ちゅうしゅうくもきよくそうかいをいで  
中秋雲浄出滄海。  
はんやつゆさむくへきてんにあたる  
半夜露寒當碧天。  
許渾 中秋。



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

- 風起不知處 かせおこるもところをしらず
- 泠然飄過林 れいぜんがえりてはやしをすく
- 如何老梧葉 いかんせうこのは
- 聲已似瑤琴 こえはずでようきにたり
- 所得偶相肖 うるころたままたまあいにて
- 欲求無可尋 もめんとほつするもたすぬべきなし
- 徘徊望明月 はいかいしてめいげつをのぞめば
- 清絶見詩心 せいぜつしんをみる

(吳震)

恭謙惟德 (書經)

恭謙惟徳

恭儉を以て身を處すべし。

對酒不覺暝 落花盈我衣  
醉起步溪月 鳥還人亦稀 (李白)

酒に対して暝るを覚えず 落花我が衣に盈つ  
酔起して溪月に歩めば 鳥還つて人また稀れなり

新秋寄樂天 (劉禹錫)

新秋 樂天に寄す 劉禹錫

月露發光彩 此時方見秋  
夜涼金氣應 天靜火星流  
蟲響偏依井 螢飛直過樓  
相知盡白首 清景復追遊

月露光彩を發す 此の時方に秋を見る  
夜涼しくして金氣応じ 天靜かにして火星流る  
虫響いて偏に井に依り 螢飛んで直ちに樓を過ぐ  
相知尽く白首 清景復た追遊せんや

奈良人は秋の寂しさ見せじとや 社も寺も丹塗にはせし (森鷗外)

半紙部規定課題A

10月25日正午必着

汀 冬 田  
洲 草  
冬 隶

※作品には必ず落款を入れてください。

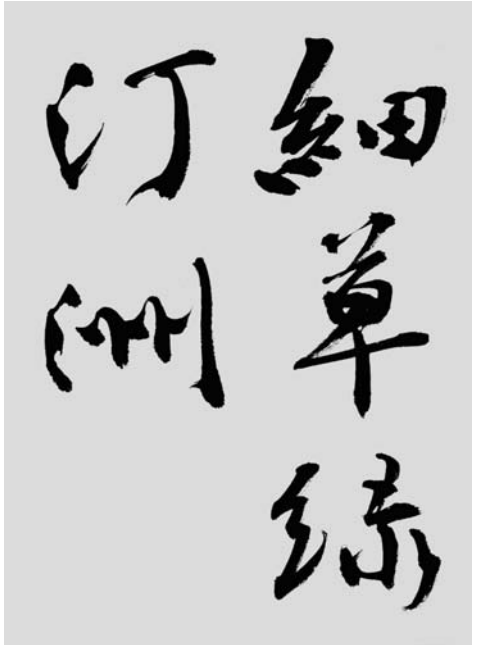
明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題 B

10月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る  
 やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしさだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受けつぐ  
 野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる  
 太守の甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

送下王牧往吉州 李嘉祐

調中史君叔上

細草緑汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて

史君叔上に調するを送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

注通川隆達文  
川余其八益高  
谷有澤方域祖  
所心南所為受

(沢有所) 注、川有所通、余谷之川、其沢南隆、八方所達、益域為充、高祖受、  
(沢は) 注ぐ(所有り)、川は通ずる所有り、余谷の川、其の沢は南に隆く、八方の達する所、  
益域は充と為る、高祖は(命を)受け、

10月25日正午必着



(川は)通ずる(所有り)、余谷の川、

清 何紹基・臨石門頌

何紹基(嘉慶四年・一七九九〜同治十二年・一八七三年)は、湖南省道州の生まれで、字は子貞、号は東洲、晩年には瓊叟と号した。幼い頃は母方の里に預けられ、八歳で北京に上り父母と暮らした。父の何凌漢は戸部尚書(大蔵大臣)にまでなった人で、学問好きで教育熱心であったため、彼は恵まれた環境のもと博い教養を身につけていった。

三十七歳で進士に及第し翰林院に奉職した。その後各職を歴任したのち五十七歳で野に下り、七十五歳の時病に倒れ、蘇州で没した。彼の書の根底にあるのは顔真卿で、最も強い影響を受けた。しかし、阮元・包世臣との出会いによって碑学に目覚め、漢碑や北魏の書の臨模に没頭した。各体を能くしたが、いずれの体も自己の世界に引き込み、形を似せることのみには捉われず、自らの性霊をもって筆を揮い、独自の書風を形成していった。

この臨石門頌は、百本を超えると言われる張遷碑に次いで多く臨書したと言われている。彼の独特な書の世界を堪能したい。(春濤)



(川は)通ずる(所有り)、余谷の川、其の沢は南に隆く、八方の達する所、益…

10月25日正午必着

教育部毛筆



ぎん  
銀

なん  
杏

中学一年

雨宮春聲先生書



ぐん  
群

そう  
像

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



あん  
暗

き  
記

小学五年

藤井良泰先生書



えい  
永

えん  
遠

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



10月25日正午必着



あん ぜん  
安 全

小学三年

細谷春誠先生書



ふう りゅう  
風 流

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ほ し 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

げつ こう 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

太陽のめぐみをうけた  
 黄金色したいなほたち

小学五年

灯台の光をたより  
 に暗い海を走る船

小学六年

自分の決めた道を  
 信じて歩いて行く

中学

秋の草むらに郷音きわ  
 たる虫たちのハーモニ

一般(級位)

雲は皆はらひはてたる秋風  
 を杉に残して月を見ふな

くもはみなはらひはてたる 秋風を 松に残して 月を見るかな (藤原良經)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
 また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ぎ	は
	っ
く	た
つ	
わ	こ
む	お
し	ろ

幼年

れ	た
う	の
ん	し
ど	い
う	た
か	ま
い	入

小学一年

き	う
	さ
ま	ぎ
ん	の
月	も
の	ち
夜	つ

小学二年

か	山
か	の
る	入
一	り
本	ぐ
ば	ち
し	に

小学三年

る	夕
赤	焼
と	け
ん	空
ぼ	を
の	さん
む	ぼ
れ	す

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

さあさあさあ

こころは秋の

あひらくあき

よめかき  
持



岩本景楓先生書

をとめらは  
八 関々々  
かかるとさびしき  
悲 支  
秋ののを  
恵 可多末遣  
かたまけて  
ものかたりゆく  
多利遊久  
(会津八一)